

# 令和3年度市町村における「健康長寿に係るイチオシ事業」

市町村名

戸田市

## 1 事業名(タイトル)

埼玉県コバトン健康マイレージ

## 2 事業概要

戸田市は、令和元年度から「埼玉県コバトン健康マイレージ事業（以下、「マイレージ事業」という）」を開始した。本市は従来、市の目標とする「健康寿命の延伸」のため、平成26年度から「健康づくりポイント事業（以下、「ポイント事業」という）」を実施し、平成28年度から平成30年度までの3か年においては、埼玉県健康長寿埼玉モデル普及促進事業に則り「ポイント事業」を実施してきた。

しかしながら、「ポイント事業」は、6か月間の期間であり毎年更新が必要であること、参加者の年齢層が高いこと、男性及び働く世代の参加者が少ないこと等、事業に関する課題が生じた。

そこで、多くの市民の参加及び健康づくり事業の活性化を図ることを目標とし、「ポイント事業」では対応出来なかったICTの活用により、市民が参加しやすく、参加者年齢の引き下げを見込んだ「マイレージ事業」に令和元年7月から本市も参加した。

本年度には、コロナ禍での市民の運動不足を解消するため、「マイレージ事業」への市民参加のさらなる拡大を目指し、市独自で「ウォーキングGETキャンペーン」を実施する。本キャンペーンの周知方法は、広報ホームページ他、18歳以上の市内に住む全世帯主（67,430人）に対し、賞品などの写真を掲載した勸奨通知（ハガキ）を10月8日に送付した（参考資料2）。

また、本キャンペーンの内容は「マイレージ事業」に参加し、本年12月中の平均歩数が5,000歩以上となった市民全員にクオカード500円分をプレゼント、更に本年12月中の平均歩数が7,000歩以上となった市民は、市独自の抽選会へエントリーされる仕組みとした。抽選会の賞品は、昨年同様、商品券や協賛企業からの提供品などに加え、最新の家電や特産品の詰め合わせ等の豪華賞品を用意する予定である。

### 3 参加者数

6,393 人

備考

令和3年度新規参加者数（R3.11.30  
時点の暫定値）

### 4 予算

13,948 千円

備考

### 5 事業効果等

令和元年度から参加者の年齢構成、性別、使用媒体等で独自に検証を行っている。戸田市健康づくりに関する市民アンケート調査（平成29年度）の結果から、令和元年度および令和2年度は「週2回以上身体を動かす頻度」の少ない働く世代へ積極的に周知を行った。その結果、令和2年度における参加者の年齢は、30代が最も多く、次いで40代、50代と続いた。令和元年度の参加者は、40代が最も多く、次いで50代、70代であったため、令和元年度に比べ30代、40代の働く世代の新規参加者を多く獲得できた。本年度は市独自のキャンペーンを行うにあたり、全戸に対し勧奨通知を送付したことであらゆる層の参加者が増加したが、特に40代が最も多く、次いで30代、50代、20代と続いた。

勧奨通知後の新規参加者数は2週間前後で2000人を超えることもあり、新規参加者の獲得には魅力的なインセンティブや個別の勧奨通知（ハガキ）が有効であることが分かった。また、令和2年度に引き続き、30代、40代の働く世代の新規参加者をより多く獲得することができた。

なお、使用媒体は20代、30代、40代、50代では歩数計よりもアプリでの参加者が多く、アプリは働く世代にも参加しやすいツールであること、多くの世代の市民にとって手軽に始めやすいツールであることが分かった。

#### ○参加者数・予算

令和元年度の新規参加者：566人

令和2年度の新規参加者：828人

令和3年度の新規参加者：6393人（令和3年11月30日時点の申込者）

※書類不備により手続きが完了していない者や重複申込者を含む暫定値

予算：13,948（千円）

（補正前予算額3,972（千円）+補正要求額9,976（千円））

※年度途中で「ウォーキングGETキャンペーン」の実施が決定したため補正予算を組む

## 6 その他(課題等)

大々的なキャンペーン実施の有無に限らない、新規参加者の獲得および参加者の参加意欲の維持を図ることが課題である。また、12月の限定的なキャンペーンにより新規加入者が増加したが、キャンペーンの終了後も自分の健康づくりのため、ウォーキングをいかに継続してもらえるかが課題である。

## 7 写真・グラフ等

別添参考資料の通り。